

今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2015年9月）

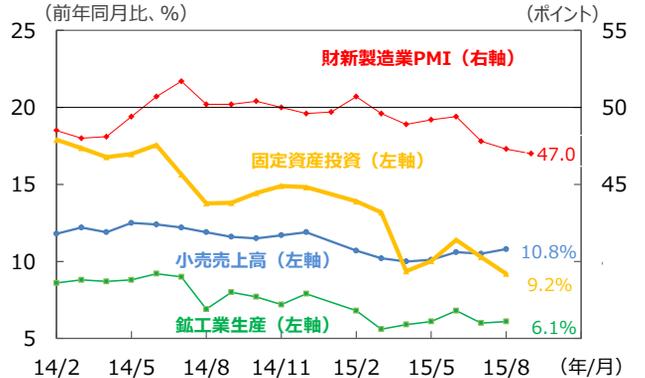
追加金融緩和と公共投資強化により、景気底割れ回避へ

ポイント1 景気減速懸念強まる

製造業PMIは3カ月連続低下

- 8月の固定資産投資（除く農村部）の前年同月比は前月から低下し、景気の減速懸念が強まりました。さらに、9月の財新製造業PMIが市場予想を下回って低下し、景気減速懸念が一段と強まりました。
- 一方、8月の鉱工業生産と小売売上高は、前年同月比の伸びが若干ながら上向きしました。住宅価格が前月比上昇する都市数も増加し、住宅市場の底入れがうかがわれ、サービス経済は比較的落ち着いたままです。

景況感、投資、小売、生産



(注) 財新製造業購買担当者指数 (PMI)は、2014年2月～2015年9月。それ以外は、2015年8月まで (2015年1月は未公表、2月は1-2月累計)。数字は直近月。製造業PMIは50が好悪の判断の境目。

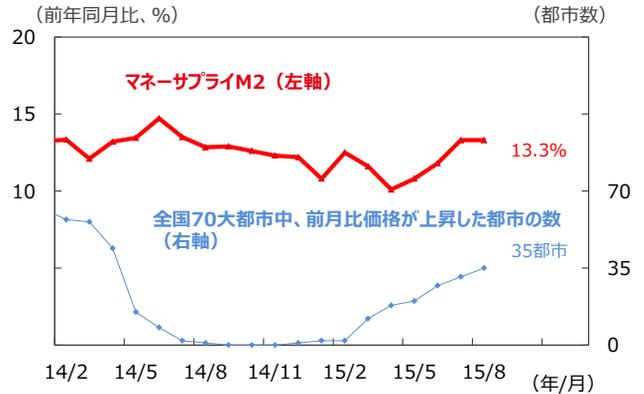
(出所) 中国国家统计局、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 金融緩和継続

企業の資金繰りを支援

- 8月のマネーサプライ (M2) は前年同月比 +13.3%と、4月を底に回復傾向にあり、これまでの金融緩和の効果が表れています。
- 中国人民銀行は、昨年11月以降、政策金利を5回、預金準備率を4回引き下げ、金融緩和を続けています。このことが、住宅市場や企業の資金繰りを支援し、サービス業を中心に景気の下支えとなっています。

マネーサプライと住宅価格が上昇した都市数



(注) データは2014年2月～2015年8月。数字は直近月。

(出所) 中国国家统计局、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

追加金融緩和と公共投資強化により、景気底割れ回避へ

- 政府は、景気対策として公共投資を拡大させています。ただし、過去の景気対策が地方政府の債務拡大や非効率な投資を招いた経緯を踏まえ、官民連携 (PPP) 方式などの効率性を重視した公共投資の拡大を図っています。
- 来年から始まる5カ年計画を念頭に、サービス経済の一層の拡大や経済の構造転換加速に向けた具体的な政策が公表されることが期待されます。政府は、追加金融緩和と公共投資強化により、景気底割れ回避を目指すことが見込まれます。

ここも チェック!

2015年 9月 4日 中国の「政策運営と経済指標」(中国)
2015年 8月26日 中国は追加金融緩和で景気減速に対応

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。